

本町出身の高校生全国で活躍

本町出身の高校生たちが、この夏、全国で活躍しました。

築地瑠偉さん(長島中学校卒)は、鹿児島実業高等学校野球部の5番キャッチャーとして甲子園に出場しました。

8月17日、町長に表敬訪問した築地さんは「甲子園も100年、鹿児島実業も100周年という節目の年だった。プレッシャーがあった中で、しっかりと自分たちの野球ができ、甲子



↑築地瑠偉さん (南日本新聞社提供)

園に出場できて良かった。2回戦で負けはしたが、甲子園はとても楽しかった」と話しました。

陸上では2人が全国高等学校総合体育大会(近畿総体)へ出場しました。

崎野優介さん(国分中央高等学校・長島中学校卒)は、やり投げで57.96を記録し、鹿児島県大会で見事優勝。南九州予選



↑崎野優介さん (南日本新聞社提供)



↑久保亜美さん (写真中央、南日本新聞社提供)

でも入賞し、近畿総体へ出場しました。

久保亜美さん(出水中央高等学校・川床中学校卒)は、800m走に出場し、近畿総体

予選では、自己ベストとなる2分12秒96を記録し、準決勝へ出場しました。今後皆さんの更なる活躍を期待します。

小・中学校 統合・再編

No.3

長島町立小・中学校の統合再編にかかる3回目の意見交換会が8月21日、開発総合センター会議室で開催されました。今回は、7月の意見交換会で持ち帰って検討した内容について、再度、町長部局と教育委員会による協議が行われました。

教育委員会からは「よりよい教育環境を整えることを念頭に置くと、中学校1校、小学校4校に統合再編することが望ましい」という基本的な姿勢は変わらない。さらに、今後も児童生徒数は減少することが考えられ、将来的には小中学校一貫校として同一敷地内に設置することも念頭に置くべきである。アンケートについては、方法や結果の取り扱いについて、よほど慎重に考える必要がある」との考えが示されました。

一方、町長部局からは「中学校を1校に統合再編する場合、場所について複数の考え方があ

り、早急に方向性を示すのは難しいのではないかと。まずは2校に統合再編してどうか、との声もある。アンケートについては、子どもを持つ親の声を確認する手段として実施したい」との考えが示されました。

小学校の統合再編については、複式学級の解消が急がれるという認識で一致し、保護者の理解を前提として、統合再編を推進していくこととましました。

以上のような協議を行い、次のような方向性が確認されました。

1. 複式学級の解消について、保護者の理解を前提に推進していく。
 2. 中学校1校、小学校4校への統合再編を推進していくが、段階的な統合再編や中学校1校、小学校1校の小中学校一貫校などについても研究していく。
 3. PTAなどの意見交換会については開催の方向で調整し、アンケートの実施については、方法や結果の取り扱いについては慎重に検討していく。小・中学校の統合再編については「子どもたちのために、よりよい教育環境を整備する」ことを大前提に、今後も協議を進めていきます。
- 次回は9月に開催を予定しています。